

日本学術会議憲章検討分科会（第6回）議事要旨

1. 日 時：令和8年4月24日（金）10：00～11：30
2. 場 所：オンライン開催
3. 出席者：磯博康委員長、中村征樹委員、芳賀満委員、加藤和人委員、樋田京子委員、
沖大幹委員、森口祐一委員

4. 議事次第

- (1) 前回議事要旨（案）について
- (2) 日本学術会議憲章案について

5. 配布資料

- ・資料1 前回議事要旨（案）
- ・資料2 日本学術会議憲章案
- ・資料3 声明の背景説明と経過
- ・資料4 使命・未来展望・価値（一般の人へのメッセージ）
- ・参考資料1 総会・意見交換会での意見一覧
- ・参考資料2 「ありたい日本学術会議像」について部会への依頼

6. 議事概要

日本学術会議憲章案について（主な意見）

- ・研究者ではなく科学者とするのが良いのではないか。科学者は一般的には理系を想起させやすいが、科学者の定義に人文系も含まれるということを確認にすることによって、学術会議が科学の対象に人文も含まれることを発信することとなり、意義があるのではないか。
- ・独立性、自主性、自律性については学術会議だけがそう思っていればよいというものではなく、当然のことであるという意味も込めて、「学術の独立性、自主性及び自律性をもって」という表現にすると良いのではないか。
- ・「持続可能な開発と発展」としてはどうか。「開発」はネガティブに捉えられる側面もあるため「発展」とした方がよいという意見もあれば、「開発」には隠れていた才能を発揮させる意味があり、ポジティブに捉えられる側面もある。このように、様々な見方を検討したという経緯を示すため、両方の言葉を併記することが良いのではないか。

その他、憲章案について議論を踏まえた修正を行った。

以 上